

## 令和2年度 フロンティア科「出前講座」

1 日時 令和2年6月19日（金） 13:50～15:50（120分）

2 講師 宮崎太陽銀行

3 演題 「宮崎を知る」～地方銀行～

4 感想

1年H組 河野 萌々香

今回の公演で、銀行が行う仕事を知ることができた。私が思う銀行の仕事は「お金の管理」くらいで、「本業支援」ということを行っているのを今日初めて知った。お客様の事業立ち上げ、売り上げアップで人材などについての要望を銀行で解決することに非常に興味を持った。これらによってお互いの会社の利益が上昇したり、欲しい人材が手に入り、職に就けることにもなり、win-winの関係が生まれるのは効率的でとてもよいものだと感じた。今回の講話では銀行の仕事の話だけでなく、社会人となったときに大切なことも学ぶことができた。銀行員は「堅そう」というイメージを持ちがちだが、柔軟に対応することを大切にしているようだ。また、何をするにも情報集めは大切で、正確な情報を集めてから行動しておくのが望ましいようだ。社会人になるころには、これらが完璧にできるよう、今からでも実行し、毎日地道な努力を重ねていき、自分の進路実現に役立てていきたいと思う。

1年I組 久保 希愛

銀行の三大業務である「預金」、「貸出」、「為替」について詳しく知ることができた。また、お金を扱わない業務については初めて知ることが多くあった。販路開拓支援であるビジネスマッチングが行われていることは知らなかった。他にも人材紹介業務や創業支援も行っており、そのことも今回初めて知った。世の中の仕事の内容についてまだまだ知らないことがたくさんあるなど実感した。馬崎先生が言われていたように学校生活において服装などの指導は大人になってから役に立つということになるほどと思った。人の第一印象は3～7秒で決まることを聞き、早い秒数だと思った。視覚は55%、聴覚は38%、言語は7%という割合になっていて見た目で決められることが多いんだと実感した。誰からも愛される銀行員の条件として挙げられていた素直さ、謙虚さ、地道な努力ができるというのは私たち学生などすべての人に求められていると思う。人との関わりを良好にするために私自身心掛けていきたいと思う。夢、目標を達成するためのキーワードである「情報」「努力」の内容を詳しく聞くことができ、とても納得した。今回学ぶことができたことは将来必ず役に立つと思うので、しっかりと心に留めていきたいと強く思った。

